



発行 甲府市農業委員会
住所 〒400-8585
山梨県甲府市丸の内一丁目18番1号
電話 055-237-1161(内線7344)
055-237-5892(直通)
FAX 055-227-8719
編集 甲府市農業委員会だより
編集委員会



収穫適期のマンゴー



マンゴーの開花の様子

おもな内容

ページ

- 農地等の最適化の推進に関する指針………2
- 農業委員会活動報告………3
- 農政情報コーナー(中北地域普及センター)……4
- 農感記第34集………5
- 農業委員会からのお知らせ………6

第71号

農地等の利用の最適化の推進に関する指針を策定しました。

甲府市農業委員会が、農地等の利用の最適化の推進に取り組むため、農業委員会等に関する法律第7条第1項に基づく指針として、具体的な目標と推進方法を定め、この指針で定めた目標を達成できるよう活動に取り組んでまいります。

なお、この指針は目標年度である平成35年度へ向けて、地域の実情を踏まえながら農業委員及び最適化推進委員の改選期ごとに、検証・見直しを行うこととします。

1. 遊休農地の発生防止・解消

年度	農地面積	遊休農地面積	遊休農地の割合
現状 (平成29年4月)	1,240ha	43ha	3.4%
3年後の目標 (平成32年4月)	1,240ha	20ha	1.6%
目標 (平成35年4月)	1,240ha	0ha	0%

具体的な推進方法

① 遊休農地の発生防止

農地法の規定による利用状況調査及び利用意向調査の実施について協議・検討し調査の徹底を図ります。

② 農地中間管理機構との連携

利用意向調査の結果に基づき、農地所有者及び農業者の意向を踏まえ、農地中間管理機構へ貸付を行います。

2. 担い手への農地利用集積・集約化

年度	農地面積	集積面積	集積率
現状 (平成29年4月)	1,240ha	262ha	21%
3年後の目標 (平成32年4月)	1,240ha	310ha	25%
目標 (平成35年4月)	1,240ha	372ha	30%

具体的な推進方法

① 農地銀行の促進

農業経営基盤強化促進法に基づく利用権の設定による、農地の貸借を促進し担い手への積極的な農地利用を図ります。

② 農地中間管理事業との連携

農家の意向を踏まえ農地中間管理事業の活用について、山梨県農地中間管理機構と連携し検討を行います。

3. 新規参入の促進

年度	新規参入経営体数	新規参入経営体取得面積
現状 (平成29年4月)	13経営体 1法人	6.8ha 0.5ha
3年後の目標 (平成32年度)	37経営体 4法人	18.8ha 2ha
目標 (平成35年度)	61経営体 7法人	30.8ha 3.5ha

具体的な推進方法

① 関係機関との連携

山梨県・山梨県農業会議・甲府市・甲府市農業協同組合・笛吹農業協同組合等関係機関と連携し、新規参入経営体への相談会等において就農希望者への情報提供、意向希望調査、補助制度等の紹介など、サポート体制の充実を整え、新規就農者の確保に努めます。

② 農業委員会のフォローアップ体制の充実

農業委員や推進委員による日常の活動等により、所有者の状況と農地の状況把握を行い、農地を持たない新規参入経営体に対しては、甲府市農地銀行及び農地中間管理機構を活用し、農地の斡旋を通じて積極的なマッチング活動に努めると共に、新規参入経営体の地域への定着を図るため、参入後のフォローアップに積極的に努めます。

農業委員会活動報告

農業委員・最適化推進委員の活動

毎月の定例総会・農地調査・運営委員会・各地区別ブロック会議・編集委員会などの各会議・地域別ブロック研修会・農地利用最適化の推進（農地銀行活動）・農地利用状況調査・各地区において、農地利用の最適化に繋げるため、日常の農業・農地に関する相談・各種手続業務・互助会総会・更には諸々の行事が実施されました。

- 4月12日（木） 東京都文京区 全国農業委員会会長大会
- 7月14日（水） 甲府市役所本庁舎 寒河江市農業委員会視察研修
- 7月31日（月） 市役所本庁舎 第23期農業委員・第1期農地利用最適化推進委員 辞令交付・委嘱式

○8月9日（水）

甲府市南公民館 農業委員・農地利用最適化推進委員合同研修会

○8月17日（木）

甲府市中道公民館 第13期甲府市農地銀行推進委員委嘱式

○9月13日（水）

【かいてらす】 県農業会議主催「農業委員・農地利用最適化推進委員合同研修会」

○10月10日（火）

甲府市役所市長室 平成30年度甲府市農業行政施策に関する提言書の提出

○10月11日（火）12日（水）

笛吹市 山梨県市町村農業委員会会長会議

○10月27日（金）

甲府市中道公民館 静岡県藤枝市他3市農業委員会協議会視察

○10月28日（土）

小瀬スポーツ公園

第44回甲府市農林業まつり

○11月14日（火）

【かいてらす】 山梨県農政推進農業委員・農地利用最適化推進委員大会

○2月22日（木）

甲府市中道公民館 甲府市農地銀行推進大会 【農業者のための、基調講演及び交流会】

祝・甲府市農業賞受賞 おめでとうございます

井田 慶喜 様

平成29年度の甲府市農業賞は下向山町の井田慶喜様が受賞されました。当日は、朝から雨模様となり、式典会場を急遽変更しての受賞式となりました。井田氏は、認定農業者として、更に環境に優しいエコファーマーの認定を受け果樹・野菜栽培等にも積極的に取り組んでおります。JAふえふき関係では、各種部会長を長年に亘り務めており、JAふえふき生産団体協議会野菜部会長として地域のリーダー

ダー役となり、地域農家の経営の改善・向上の発展に尽力されてきました。



第44回甲府市農林業まつりで表彰

現在は、JAふえふき中道支所生産団体協議会会長を務めており、第22期甲府市農業委員を7月まで就任されておりました。

南ブロック主催の視察研修

平成29年12月19日（火）に上九一色地区において、獣害防止ネット柵設置の状況を農業委員・最適化推進委員との合同で実施しました。設置から年数が随分と経過しており、損壊箇所も多数見受けられました。



市担当職員から説明を受ける様子

参加した委員の方々からは、完全に獣害からの被害を防ぐには、本格的な頑丈な柵の設置を考えていかないと、どうにもならんじやんね。との声が多く聞かれた。さらに、地元委員からは、収穫の時期には、また獣等との格闘が始まるな？と溜め息交じりの一言。



普及センターコーナー

中北地域普及センター
(中北農務事務所 農業農村支援課)
TEL 0551-2313291

GAP (ギャップ) の概要について

GAP (農業生産工程管理) についてご紹介します。

GAP (ギャップ) とは「Good (良い) Agriculture (農業) Practice (やり方)」の略語で、「良い農業のやり方」と訳せます。

少し難しく思うかもしれませんが、農家のみなさんが「良い農業」を実現するために、農作業工程などを確認し管理することです。

農産物を栽培し、収穫・出荷するまでに幾つもの作業工程があります。この作業工程の中には、様々なリスクが潜んでおり、一つ作業を間違えると農業経営に影響を与える問題が発生することがあります。

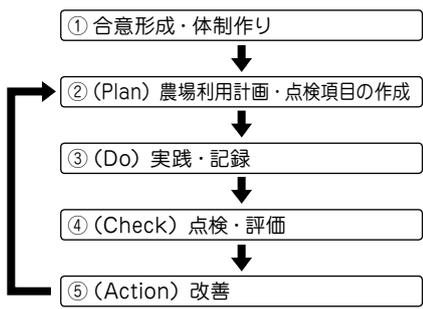
例えば、農薬の間違った使用による残留農薬による

農産物の汚染、農作業中の機械事故、農薬や肥料の河川への流出など様々な問題の発生が考えられます。

GAPは農業者自らが農作業工程等の点検、検証を行うことで、このような問題の発生を未然に防止し、「儲かる農業」「持続可能な農業」「楽しい農業」等々を実現するための道具となります。

次にGAPの具体的な方法を紹介します。まず、農作業毎に、どのような問題の発生が考えられるか書き出します。次にその問題が発生する要因は何か、発生させないためには何が必要かを整理します。これら点検項目をまとめたチェックシートを作成し、このチェックシートを活用しながら、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価、改善を繰り返しながら、よりよい農業に近づけていくことです。

GAP導入・実践の流れ



やまなしGAPと認証制度がスタート

やまなしGAPについてご紹介します。

2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会の食材調達基準として従前からの認証制度であるJGAP、GLOBALG.A.P.の他、国のガイドラインに準拠し、都道府県等の公的機関が確認したGAPが要件になったことから、山梨県でも独自のGAP認証制度を構築し、今年度「やまなしGAP」の認証がスタートしました。

次にやまなしGAPの認

証制度について説明します。申請できる方は、県内の農業者、農業法人、JA生産部会などです。

認証の要件はやまなしGAP導入基準書に定める以下の事項を実践していることと定めています。①・食品安全を主な目的とする取組(果樹・野菜15項目、水稲5項目) ②・環境保全を

主な目的とする取組(果樹・野菜8項目、水稲7項目)、③・労働安全を主な目的とする取組(果樹・野菜・水稲各3項目)、④・生産工程管理の全般に係る取組(果樹・野菜・水稲各7項目)、⑤・出荷団体の取組(果樹・野菜8項目、水稲10項目)。

この果樹・野菜延べ41項目、水稲延べ32項目を実践していただいている農業者や農業法人が認証申請することができます。

これから実践すべき事項(チェックリスト)や申請様式など詳細は県農政部農業技術課のウェブページをご参照ください。

なお認証期間は3年で、認証期間中は取組事項の実践について1年ごとに内部

監査報告書の提出が義務付けられます。

やまなしGAPに認証されると、やまなしGAPのロゴマークを使うことができ、出荷箱やパック、シール等に印刷することで安全・安心に取組む証をアピールできます。

現在、甲府市内においても、JA甲府市果実部及び蔬菜部、およびJAふえふき中道北・南両支所各生産部会において部会員によるGAPの取組が行われており、やまなしGAP認証に向けた準備が進められています。

GAPに関する相談については、中北農務事務所農業農村支援課までお願いします。

やまなしGAP「ロゴ」マーク



農 感 記 第三十四集

農業の働き方改革を

古府中町 山本 光信



農業委員会制度が改正され、農地利用最適化推進制度が新たに制定され第一期として任命されました。

もとよりこの制度は耕作放棄地を解消し農地の有効利用を促進することが大きな任務であります。申し上げるまでもなく、「農地」とは耕作の目的に供される土地であり、農地を利用するには経営形態の如何を問わず効率的に利用する、農業経営に長けた者に農地を委ね、農業の活性化を図ることとあります。そうすることで他産業からの農業参入を促し、効率的農業経営を展開する道が開けるのであ

ります。耕作放棄地が増大しているのは、その土地を所有する方々の力強い協力は勿論のこと、基本的には農業改革と、農地改革とが連携しない限り、農地政策の理念は貫徹されません。特に中山間地の農業は、小規模農家が多く更に高齢化が進み、結果的に耕作放棄地として放置されてきたのであります。



樹園地農道沿いの耕作放棄の梅畑

この農地を活用するには農業の生産団体、農業法人等による社会的自主管理が大きな意味をもつ時期がきているのではないでしょ

うか。

効率的農地の活用は、最も必要且つ大切であります。中山間地の農地の活用は申し上げるまでもありません。農業従事者の高齢化で耕作放棄地は激増し、過疎化する農村の構図は増大するばかりです。

そこで新たな方法として農家民宿、農家レストラン、新鮮な農産物の直売、田園景観をいかした活力ある農村等、共通するテーマは「農村ある暮らし」これこそ消費者と農家を結びつける新しい価値観のもてる活性化策であると考えます。

新制度の発足を期に、明日ある農業を目指し、働きがいのある近代農業を進め、消費者と共に考える農業をより進めたいものであります。

十五年を振り返って

上山町 小林 雅宗



十五年前に結婚を契機に後継者として就農し、桃とうもろこしを中心に経営を行っております。妻の出身は東京で、慣れない土地での慣れない農作業を十五年間共に頑張ってくれて

います。農作業の段取りや作付けの計画、肥培管理などは私が行いますが、家庭のことはほぼ妻に任せており、三人の子どもの出産・育児をしながらの作業は苦勞も多かつただろうと思います。昔から「夫唱婦随」という言葉がありますが、最近では自分たちの時間を持てるようになった両親に代わり、畑においては「夫唱婦随」、家庭においては「婦唱夫随」になりながら、お互いに健康に気をつけて、今後も妻と二人で明るく・楽しい農業を続けていきたいと思っています。今日この頃です。

農業が抱える問題の中に後継者不足や高齢化による耕作放棄地の増加や鳥獣害被害による問題など、多くの課題が山積している中で、地域農業にどれだけの貢献ができるか分かりませんが、

微力ながら精一杯、頑張りたいと思っております。

昨年、中道南小学校の児童がハイキングの途中で桃畑に立ち寄り寄ってくれたので、特産の桃の栽培方法や、地域を取り巻く農業の課題などを、短時間で話すが話す機会がありました。将来の担い手となる子ども達に、甲府市南部の滝戸山を含む御坂山系の裾野に抱かれた自然豊かなこの農村風景を、いつまでも残していきたい。素晴らしさを伝えながら新たな後継者が育ってくれることを心から願う次第です。



中道南小学校児童に囲まれて1枚

平成30年度農業臨時雇賃金等標準額

作物	用途	区分等	金額(円)	単位
稲作	耕起代かき	平坦地	13,100	10a当たり
		山間地	14,100	
	耕起	平坦地	8,000	10a当たり
		山間地	8,600	
	代かき	平坦地	8,000	10a当たり
		山間地	8,600	
	育苗(成苗)	消費税・配達代込	1,400	1枚当たり
	機械田植	平坦地	9,500	10a当たり
		山間地	10,300	
	稲刈機械(バインダー)	結束ひも付き	10,000	10a当たり
脱穀機械(ハーベスター)	平坦地	9,000	10a当たり	
	山間地	9,500		
稲刈・脱穀(コンバイン)	乾燥まで	19,000	10a当たり	
籾すり	共同所有機械	370	30kg当たり	
果樹	剪定	8時間	13,000	1日当たり
	ブドウ棚補修	8時間	16,000	1日当たり
一般農作業	賄い付き	900	1時間当たり	

※稲作作業の場合燃料は請負者持ちとする

農業委員会からのお知らせ
TEL055(237)5892

相続税の納税猶予及び注意事項

相続税の納税猶予制度は、農業経営の存続を税制面から支援する制度です。被相続人から農地を相続し、継続して農業経営を行い、制度の要件を満たした場合に、一定の相続税の納税が猶予されます。既に、この制度

を受けている方は、特例農地の譲渡、贈与、転用、遊休農地化、農業経営の廃止、継続届出書の不提出、また他の要件により制度が打ち切られる場合がありますので、ご注意ください。

農業者年金にご加入下さい

農業者年金は国民年金だけでは不十分な生活費を農業者が年金の形で受給できる制度になっております。
★加入者条件★
・国民年金第1号被保険者

平成29年度実績

協定名：平瀬町他6集落
協定参加者：102名
協定農用地：急・緩傾斜
協定面積：175,355㎡
交付金額：2,322,418円

この制度は、農業・農村が持っている水源かん養・洪水の防止・土壌の侵食や崩壊の防止機能を重視し、耕作放棄地の増加など深刻な状況にある中山間地域での農業生産の維持を図り、多面的機能を確保する観点から実施されています。
協定書提出期限は6月30日です。
協定を希望される対象の皆さんは、農政課へ早めにご連絡下さい。
農政課
TEL 298-4836

中山間地域等直接支払い制度が実施されています

・年60日以上農業従事者
・20歳以上60歳未満の方

甲府市賃借料情報。賃貸借を行う際の参考にして下さい(10a当たり)

作物区分	地域区分	平均額	最高額	最低額
稲作	甲府市平均	12,100円	22,300円	6,000円
	旧甲府市(平坦地)	12,700円	22,300円	6,700円
	旧中道町	11,400円	14,100円	8,400円
野菜	甲府市平均	11,600円	21,700円	3,900円
	旧甲府市(平坦地)	11,500円	20,700円	5,000円
	旧中道町	10,200円	21,700円	4,800円

旧甲府市(山間地)及び旧上九一色村は上記を参考

作物区分	地域区分	平均額	最高額	最低額
果樹	甲府市平均	13,300円	28,300円	4,300円
	旧甲府市(平坦地)	17,900円	28,300円	5,000円
	旧甲府市(山間地)	10,900円	21,500円	4,300円
	旧中道町	10,600円	22,900円	4,900円
ブドウ	甲府市平均	15,100円	28,300円	4,300円
	旧甲府市(平坦地)	17,900円	28,300円	5,000円
	旧甲府市(山間地)	10,900円	21,500円	4,300円
	旧中道町	13,700円	20,300円	6,800円

表紙写真の紹介

★写真大小★

平成28年度から、下今井町地内で栽培が始まった、加温ハウス栽培の南国果実「マンゴー」のアーウィン種の3年目の収穫適期の果実と開花8割時期の状況です。

NOSAからのお知らせです

「新たに31年産から、農業経営全体を対象とした保険制度がはじまります。対象の品目を限定せず、価格低下なども含めた収入減少を保障する仕組みです。詳しい内容等の問い合わせ先は「山梨県農業共済組合まで」228-4711

編集後記

委員改選後の初めての農業委員会だより発行にあたり編集委員の皆様、農感記へのご寄稿さらに紙面・写真についてご協力下さいました関係者の皆様、誠にありがとうございました。